

講義コード	11C0382601	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当教員		開講期	
科目名	国際経済					神野 真敏		通年	
履修前提条件						備考			
授業の目的	経済は国内の経済活動だけでは成り立っていません。様々な関わり合いを国際貿易市場や国際金融市場を通じて海外企業とかがかかわっています。海外とのかかわりあいには、複雑な影響をもたらします。このような国際貿易や国際金融を通じた影響を理論的に解説するのが本講義になります								
到達目標	貿易を通じた影響を理論的に説明できるようになる。 外国為替レートがどのようなメカニズムで決定されているのかを理論的に説明できるようになる。 国際的な相互依存を考慮した経済モデルを利用して、国際政策協調の意義と限界、あるいは最適通貨圏などについて説明できるようになる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	授業で扱う内容に関して教科書や参考書を参照して予習しておくこと。 さらに、授業後は配布資料と教科書を照らし合わせ、知識の定着に勤めること。 上記の予習と復習に学外において120時間を費やすこと。								
授業計画	【第1回】 講義の概要－世界の通商システムと日本－ 【第2回】 貿易の基本モデル（1）：部分均衡分析 【第3回】 貿易の基本モデル（2）：2財の貿易モデル 【第4回】 リカードモデル 【第5回】 ヘクシャー＝オリーソン・モデル 【第6回】 不完全競争と国際貿易 【第7回】 完全競争と貿易政策 【第8回】 不完全競争と貿易政策 【第9回】 生産要素の国際移動 【第10回】 地域経済統合とその理論 【第11回】 海外取引と国際収支 【第12回】 外国為替市場と外国為替レート 【第13回】 外国為替相場の決定理論 【第14回】 外国貿易と国民所得水準の決定 【第15回】 開放経済のマクロ経済政策と前半のまとめ				【第16回】 講義の概要－国際金融とは－ 【第17回】 経済学的視点からの国際金融 【第18回】 国民経済計算と国際収支会計 【第19回】 貨幣とマクロ経済 【第20回】 為替レートと外国為替市場 【第21回】 金利と為替レート 【第22回】 物価と為替レート 【第23回】 為替レートと実体経済 【第24回】 為替レートと開放マクロ経済政策（1） 【第25回】 為替レートと開放マクロ経済政策（2） 【第26回】 為替政策：為替介入と為替相場制度 【第27回】 通貨同盟と最適通貨圏 【第28回】 国際金融を取り巻く難問 【第29回】 為替レートの理論と現実：実証分析と為替レート 【第30回】 これまでのまとめ				
成績評価の方法	中間試験（50％）・期末試験（50％）のみで評価します								
フィードバックの内容	適宜理解度を測る調査を行い、そのフィードバックを授業内にて行います								
教科書	『コア・テキスト 国際経済』大川 昌幸（新世社）2015、『コア・テキスト 国際金融 第2版』藤井 栄次（新世社）2013								
指定図書									
参考書	『国際経済学 国際貿易編』中西 訓嗣（ミネルヴァ書房）2013、『国際経済学入門 国際貿易編』ケイブズ・フランケル・ジョーンズ（日本経済新聞社）2003								
教員からのお知らせ	第1期末の中間試験と第2期末の学年末試験の両方で評価します。片方だけの受験では、成績評価はしません。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は、授業終了後、次の授業に支障がない範囲で教室内にて対応します								
その他									